

平成23年度

事業計画書

横浜市桂山公園こどもログハウス

特定非営利活動法人
さかえ区民活動支援協会

1 運営団体の状況

(1) 団体の理念・基本方針等

(2) 公の施設等の管理実績

(1) 運営団体の理念・基本方針等

特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会は、地域のコミュニティ活動、文化・スポーツ活動などを通して触れ合いのある快適な地域社会が実現することを目指して活動しています。この理念を実現するため、以下の方針に基づき様々な事業に取り組みます。

基本方針

- ① 区民の自主的活動の支援、相互交流を深めることにより、地域コミュニティを醸成し地域力の向上を図れる取り組みを進めます。
- ② 区民が気軽に快適に安心して利用できる施設運営を行い、利用者サービスに努めます。
- ③ 区役所と協働し行政情報や行政サービスの提供に努めます。
- ④ CO-DO30・G30を意識した取り組みを進めます。
- ⑤ 経費の節減を図り効率的な運営に努めます。

(2) 公の施設等の管理実績

	名 称	管 理 実 績
地区センター	本郷	約200団体の自主事業グループが活動しており、平成21年度は、8万8千人のご利用がありました。また、46自主事業を実施し、「庭木の手入れ」や「健康麻雀」などで多くの参加者がありました。
	豊田	約110団体の自主事業グループが活動しており、平成21年度は、約11万人の利用がありました。また、44自主事業を実施し、「フランス料理教室」や「布ぞうり作り」などで多くの参加者がありました。
	上郷	約870団体の自主事業グループがあり、平成21年度は、8万1千人に利用がありました。また、31自主事業を実施し、「季節の野菜づくり」や「万葉集へのお誘い」などで多くの参加者がありました。
老人福祉センター 横浜市翠風荘		大広間でのカラオケや入浴などを楽しみに来館される利用者が平成21年度には約8万5千人おりました。高齢者が対象の施設なので健康状態に注意しながら転倒事故等の防止に努め、利用者楽しく過ごしていただいています。
横浜市桂山公園 こどもログハウス		桂山公園の中に設置された中学生までが利用できる施設で、平成21年度には約4万4千人の利用がありました。幼児等の年少者の利用があることから出会い頭の衝突事故防止に細心の注意を払っています。親子連れの利用者が楽しく遊んでいます。
飯島コミュニティハウス		地域の集会等にご利用いただき、平成21年度は、1万4、400人の利用がありました。平成18年度の開設以降、周辺住民に周知されるようになり利用者は漸増傾向にあります。
上郷コミュニティハウス		平成21年9月に旧上郷小学校舎から敷地内にある体育館に移設して運営しています。平成21年度は、7ヵ月間で約9千600人の利用がありました。体育館を利用した暫定施設ですが、卓球・会議などで活用されています。
本郷小学校コミュニティハウス		地域の生涯学習の場として利用いただいております。平成21年度は8自主事業を実施するなど周辺住民の触れ合いの機会を提供しました。また、絵画・写真などのグループが活動していて、1万7千人の利用がありました。
庄戸中学校コミュニティハウス		地域の生涯学習の場として利用いただいております。平成21年度は、4自主事業を実施するなど地域住民の触れ合いの機会を提供しました。また、手工芸・英会話などのグループが活動しており、平成21年度は、1万3千人の利用がありました。

こどもログハウスの管理運営

(1) 管理運営方針

栄区ではこどもログハウスの利用対象者である15歳未満人口が、20年間で5%減少し平成21年度には、13.2%となっています。

核家族化、隣近所のつきあいの希薄化などにより顔の見える関係がなくなりつつあり、孤立感や育児不安感を抱くなどの原因が重なり少子化傾向が定着してきました。

こどもログハウスは、遊びを通じて成長することができる場として、幼児と親との触れ合いの場として、また、青少年の健全育成を推進する場として設置された施設です。こどもログハウスでの親同士の交流・こども同士の遊びなどをおして孤立感や育児不安の解消に、また、健全育成に一定の役割を果たすものと考えます。

こうした目的と役割を実現するため以下の管理運営方針に基づき事業を進めてまいります。

①笑顔で優しい挨拶

誰でも気軽に利用できるような雰囲気をつくるには、スタッフが笑顔で優しく挨拶することが大切です。

②楽しく利用できるサービス提供

未就学児から中学生までが対象の施設ですが、特に小学校低学年以下のこどもが楽しく安全に遊べる紙製のラケットや布製のボール・グラブなどの遊具をスタッフが手作りし、年齢に応じて怪我しないで楽しく遊べるようにします。

③利用マナーに配慮した適切な案内

一定のルールを守ることによって誰でもが安全・安心に利用できます。初めての利用時には利用ルールを説明し施設内の秩序が維持できるようにします。また、施設内秩序が乱れそうな場合には、利用ルールを確認するなど適切な案内をします。

④清潔な環境の保持

こどもが利用した遊具等を閉館前に布で拭いたり床を雑巾で拭くようにします。また、トイレは利用開始前に清掃します。

3 事故防止・緊急時対応

《事故防止について》

- (1) スタッフによる遊具点検
開館時に毎日、ネットの綻びや床板の腐食、ペランダの手すりの状態や遊具の点検をチェックリストで確認しながら実施します。
- (2) スタッフによる見回り
利用者がマナーを守って利用しているか、危険な遊び方をしていないか適宜、施設内を見回ります。
- (3) 分りやすいポスターの掲出
事故が発生しやすい場所の注意や遊具の危険な利用を注意するポスターを分りやすい表現で掲出します。
- (4) 室内環境の保持
使用していない遊具等の散乱を発見した場合には片付けたり、床が濡れている場合にはふき取って転倒防止に努めるなど安全な環境保持に努めます。
- (5) 危険遊具等の使用中止
遊具等の点検の結果、事故発生の危険が予見される場合には、速やかに利用を中止し事故防止を図ります。

《緊急時対応について》

事故等が発生した場合の対応は次のとおりです。

- (1) 事故状況・負傷の状況の確認、応急手当
- (2) 負傷者の記録
こどもの名前・保護者の名前・連絡先を記録する。
付き添いの保護者がいない場合は、保護者に連絡する。
- (3) 救急車の手配
付き添いの保護者がいない場合は、状況によりスタッフ1人が同乗する。
- (4) 関係機関への連絡
スタッフは事務局に連絡する。事務局は必要と判断した場合には区役所（地域振興課）に状況を報告する。
- (5) 事故報告書の提出
スタッフは、必ず事故報告書を作成し事務局と区役所（地域振興課）に提出する。
- (6) 保護者への確認
事後あるいは翌日必ず保護者に連絡し状況を確認し、事務局に報告する。
事務局は、必要に応じ相手方と連絡し以後の対応を相談する。
- (7) 不審者対応
不審者が侵入して来た場合には、利用者をペランダ側非常口に避難誘導します。また、警察に通報するなど関係機関への連絡を速やかに行います。
こうした対応が迅速に実施できるよう専門家を招いた防犯訓練などに取り組みます。
- (8) 防災対応
火災発生時の避難訓練などを消防署に協力いただき年2回実施します。

4 地域ニーズ、利用者ニーズの把握と運営への反映

《地域ニーズ・利用者ニーズの把握》

栄区は、区民の平均年齢が18区中4番目に高く44.5歳です。また、高齢化率は23.3%と18区中最も高くなっています。一方、15歳未満の年少人口割合は、13.2%で本市平均よりもやや低いものの18区中6番目となっています。

区内では、高齢化率が高くなる傾向ですが、年少人口割合は平成27年(2015年)には12%程度と安定的に推移すると見込まれております。また、年齢別人口構成では20歳～39歳の子育て世代が26.5%と高い割合を占めています。こうした栄区民の年齢構成から、育児支援・保護者の孤立不安感の解消・児童虐待の未然防止・青少年の健全育成などが求められています。

また、保護者からは、こどもが安心して安全に遊べる場所、多くのこどもがふれあえる場所、保護者同士の交流の場所、3世代交流ができる場所が求められています。

こうした、地域ニーズ・利用者ニーズを的確に事業に反映させるため運営委員の意見を参考にしたりイベントごとに利用者アンケートなどを行います。

また、館内に「ご意見箱」を設置し利用者のご意見をお聞きするようにします。

《運営への反映》

* 地域ニーズ・利用者ニーズを反映した自主事業を実施します。

節分・こどもの日・七夕・クリスマスなど季節ごとの自主事業を実施しこどもが楽しめるイベントを実施し青少年の健全育成に取り組みます。

また、敬老の日などにこども・保護者・お年よりが参加できる自主事業を実施し世代間交流を促進します。

さらに、育児不安を解消するため救急手当など保護者を対象にした自主事業を実施します。

* 気軽に利用できる雰囲気づくり・気軽に話しかけられる雰囲気づくりに努めます。

* 幼児・小学生が怪我をしないで安全に楽しく遊べるような遊具をそろえます。

* 施設内秩序の維持に努めます。

利用者が楽しく安全に安心してご利用いただけるようスタッフが適切に利用案内を行い事故防止に努めます。

5 事業の企画・実施

(1) 利用者サービス向上に向けた取り組み

《サービス向上の取り組み》

利用者が快適に楽しく利用していただくには、利用者の立場にたった職員の心のこもったサービスがなにより大切と考えます。

次の取り組みを行います。

- ① 明るく優しく親切に案内します。
- ② やさしく見守る一方、館内秩序の維持に努め、事故防止に努めます。
- ③ スタッフが心をこめた手作りのおもちゃを提供します。
- ④ いつも清潔に保つよう心がけます。
- ⑤ 落書きを発見した場合には速やかに消去して、美観の保持に努めます。
- ⑥ 救急箱を備え、簡単な治療ができるようにします。

《自主事業の取り組み》

こどもログハウスには、年間4万3,000人の利用者がいます。この利用者が楽しく有意義な時間が過ごせるよう、以下のような自主事業に取り組みます。

① 季節ごとにその時季にふさわしい自主事業

節分・ひなまつり・こどもの日など季節ごとの伝統行事やハロウィンなどを実施します。こどもたちが日本文化や伝統行事について楽しく学ぶ機会にします。

② 保護者の育児支援

救急手当教室

核家族化が進み孤立感を抱いている子育て世代の保護者に簡単な救急手当を学んでもらいます。育児不安の解消を図ります。

③ 防犯教育

夏休み期間中に小学生向け防犯教室を開催し、防犯意識の高揚をはかります。

④ 世代間交流

敬老の日やお正月を中心にこどもと高齢者が参加する事業を検討します。こどもと高齢者が世代を超えた交流を行い相互理解・地域間交流の拡大の機会とします。

⑤ 地域交流

* ロッキー祭り

こどもログハウスが開設した11月に「ロッキーまつり」を開催します。まつりで使用する遊具などの材料となる牛乳紙パック・ペットボトルなどの提供を利用者や地域の皆様に呼びかけ、地域と協働のイベントにします。

こうした取り組みにより来館者が地域を超えて交流する機会とします。

* 地域ボランティアによる読み聞かせ

地域の方に呼びかけ、本や紙芝居の読み聞かせのボランティアに協力いただき、物語を楽しむ時間を持ってもらい、こどもの思考力・想像力を高めます。

5-(2) 施設の利用促進に向けた取り組み

(1) 広報の充実

多くの区民に利用して頂くには、こどもログハウスの活動を知ってもらうことが大切です。様々な広報媒体を利用して活動PRを行っています。

- ① ホームページ
支援協会のホームページで自主事業の予定や実施結果についてお知らせします。
- ② 広報よこはま「さかえ区版」
毎月発行される広報よこはま「栄区版」に自主事業の実施案内を掲載し、区民に広く周知します。
- ③ 自治会町内会への広報
自治会町内会の回覧時にログハウスの利用案内や自主事業の案内をしていただくように約4,000枚を作成し協力をお願いします。
- ④ 保育園・幼稚園・小学校へのPR
こどもログハウス周辺の保育園・幼稚園で自主事業案内の掲示をお願いしたり・小学校にお願いし全生徒にチラシの配付をお願いします。
- ⑤ 新聞販売店の無料折込への掲出
新聞販売店の無料折込に自主事業のお知らせを年2回程度掲載し購読者にPRします。
- ⑥ 月刊誌「ファミリーウオーカー首都圏版」(角川マーケティング発行) 開館時間・休館日・自主事業などの掲載に協力します。
- ⑦ タウン誌への情報提供
「はまかぜ」「タウンニュース」に情報提供し、掲載されるように努めます。
- ⑧ ケーブルテレビへの情報提供
「JCNよこはま」に情報提供し、事業活動を広くPRするように努めます。
- ⑨ 公共施設でのPR
区役所・地区センター・図書館・区民活動センター「ぶらっと栄」・JR本郷台駅・港台駅などで掲示いただけるように努めます。

(2) 魅力あるイベントの実施

こどもや保護者が行ってみたい、参加したいと思うイベントを企画し利用促進を図ります。

- ① ロッキーまつりの開催
毎年開設日(11月16日)を中心にロッキーまつりを開催します。開催にあたっては、広報よこはま「さかえ区版」や町内会での回覧、タウン誌へ掲載するなど積極的にPRします。
- ② 話題性のあるイベントの開催
開設から20年が経過する平成23年度には、開設20周年アニバーサリーを実施するなど話題性を提供し、利用促進に努めます

運営目標

利用者数44,000人(平成21年度実績43,542人×1.01)

施設内での骨折等の負傷事故 ゼロ

桂山公園こどもログハウス自主事業計画書

【平成23年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たりの参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
(伝統行事) こどもの日 ～かぶととかたなで元気に遊ぼう～	幼児～小学生	2,000	2,000	0	0	2,000	0
	100						
	0						
(家族) 母の日 ～おかあさんに感謝を込めて～	幼児～小学生	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	100						
	0						
(講習会) 救急手当て教室 ～若いパパママへ、いざというときに～	幼児と保護者	0	0	0	0	0	0
	30						
	0						
(伝統行事) 七夕20周年記念短冊 ～大人になったら〇〇になりたい～	幼児～小学生	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	100						
	0						
(講習会) 小学生向け防犯教室 ～防犯力を身につけよう～	小学生	0	0	0	0	0	0
	30						
	0						
(おまつり) 桂台まつり参加 ～ロッキー20年の歴史～	幼児～小学生	4,000	4,000	0	0	4,000	0
	100						
	0						
(生活) 夏休み工作教室 ～夏休みの宿題のヒントに～	幼児～小学生	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	100						
	0						
(生活) ハロウィン ～20周年記念仮装大会～	幼児～小学生	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	100						
	0						
(おまつり) 第20回ロッキーまつり ～20周年記念ロッキーの成人式！～	幼児～中学生	20,000	20,000	0	6,000	12,000	2,000
	—						
	0						
(生活) クリスマス ～クリスマスの調べをたのしもう～	幼児～中学生	9,000	9,000	0	6,000	3,000	0
	100						
	0						
(伝統行事) お正月 ～昔ながらの遊びを伝えよう～	幼児～小学生	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	100						
	0						
(伝統行事) 節分 ～ロッキーで豆まき～	幼児～小学生	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	100						
	0						

桂山公園子どもログハウス自主事業計画書

【平成23年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たりの参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
(伝統行事) ひなまつり ～かわいいおひなさまをつくろう～	幼児～小学生	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	100						
	0						
(生活) おはなし会 ～みんな静かに聞こう～	幼児～小学生	0	0	0	0	0	0
	—						
	0						
(記念行事) 20周年記念 ～ロッキーギネス～	幼児～中学生	4,000	4,000	0	0	4,000	0
	100						
	0						
合計 15事業		60,000	60,000	0	12,000	46,000	2,000

桂山公園こどもログハウス自主事業別計画書

【平成23年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
こどもの日	施設に5月人形を飾り、日本の伝統行事であるこどもの日をロッキーで元気に過ごしてもらおう。	5月
～かぶととかたなで 元気に遊ぼう～	内容	回数
	新聞や廃材などを利用して、スタッフの指導でかぶとと刀を子どもたちに作ってもらおう。実際にかぶとをかぶり、かたなで遊んだり、家に持ち帰って家族で遊んでもらおう。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(家族)	目的	実施時期
母の日	おかあさんや家族への感謝の気持ちを込めて、カードなどを作って、子どもたちからおかあさんや家族へプレゼントしてもらい、親子などのコミュニケーションを手助けする。	5月
～おかあさんに 感謝を込めて～	内容	回数
	色画用紙などを使って、子どもたちにカードなどを手作りしてもらい、持ち帰ってお母さんや家族にプレゼントしてもらおう。毎年恒例の行事だが、カードやプレゼントの工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(講習会)	目的	実施時期
救急手当教室	子どもたちがケガした時、または何かを誤飲した時など緊急時に慌てずに対処できるように、お父さんやお母さんに学んでもらう。	6月
～若いパパママへ、 いざというときに～	内容	回数
	消防署の職員を招いて、子ども向けの蘇生方法、ケガをした時の止血方法、誤飲の際の対処方法など、救急手当の方法を講習してもらおう。一昨年から始めて、非常にわかりやすくて確かな講習で好評だったので、毎年恒例の事業としている。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
七夕20周年記念短冊	日本の伝統行事である七夕に、七夕飾りや短冊などを作り、子どもたちに願い事を考えることで、未来への夢や希望を考える時間を持ってもらう。	7月
～大人になったら 〇〇になる～	内容	回数
	毎年くすだま飾りなどきれいな飾りを施設に展示し、子どもたちに書いてもらった短冊を笹に飾って、七夕の雰囲気盛り上げている。20周年を記念して、子どもたちに大人になったら、どんな大人になりたいか、どんな職業につきたいかなど夢を短冊に書いてもらう。	1回

桂山公園こどもログハウス自主事業別計画書

【平成23年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(講習会)	目的	実施時期
小学生向け防犯教室 ～防犯力を身につけよう～	夏休みはいる前に、小学生に向けて「知らない人に声をかけられたらどうするか」「遊びに行くときは家族に言ってから」などの自分たちで出来る防犯について学んでもらい、事故防止に努める。	7月
	内容	回数
	神奈川県研修担当職員を招いて、小学生向けに防犯について講習会を開く。実演をまじえて講習することで、夏休み中の防犯意識を持ってもらう。一昨年からはじめた講習会でたいへん有意義な講習だったので恒例の事業にしている。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(おまつり)	目的	実施時期
桂台まつり ～ロッキー20年の歴史～	地元のおまつりに出店し、ロッキーの20年の歴史を住民の方に広く知ってもらう。	8月
	内容	回数
	地元の桂台まつりに出店し、20年間で制作した手作りのおもちゃやイベントの作品を安価で販売する。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
夏休み工作教室 ～夏休みの宿題のヒントに～	静かに作品を作ることで、集中力を養い、また作り上げる喜びを味わってもらう。未就学児には親子で作る喜びを味わってもらう。	8月
	内容	回数
	身近な材料を使った工作を子どもたちに作ってもらい、施設に展示したり、自宅に持ち帰ってもらう。夏休み中に7日間ほど開催する。毎年恒例の行事だが、工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
ハロウィン ～20周年記念仮装大会～	ハロウィンに向けて、参加者自らが仮装をして、楽しむ。	10月
	内容	回数
	いろいろな色のビニール袋や布、ヒモなどを用意して、参加者が自由に着飾っておばけのように仮装する。ファッションショーのように、順番に披露する。	1回

桂山公園こどもログハウス自主事業別計画書

【平成23年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(おまつり)	目的	実施時期
第20回ロッキーまつり	毎年恒例のロッキー誕生まつり。普段出せない遊具(トランポリンなど)やスタッフ考案の新しい遊びなどでたっぷり楽しんでもらう。また、マジックショーなど普段と違うロッキーを楽しんでもらうことと、広く広報することで新しい利用者の増加を図る。	11月
～20周年記念ロッキーの成人式！～	内容	回数
	20回目という節目の年なので、近隣小学校吹奏楽部や有志による演奏会を1日目(土曜日)に行い、2日目(日曜日)は恒例のマジックショーや普段と違う遊びで楽しんでもらう。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
クリスマス	施設にクリスマスツリーなど飾り付けをし、クリスマスの音楽を流したり、子どもたちにクリスマス用の飾りを手作りしてもらい、みんなでクリスマスを楽しんでもらう。	12月
～クリスマスの調べをたのしもう～	内容	回数
	身近な材料を使って子どもたちにクリスマス用の飾りを飾りを作ってもらい、施設に飾ったり自宅に持ち帰ってもらう。クリスマスに向けて2～3日開催する。また最終日にはボランティアの方に依頼して、クリスマスの曲をキーボード演奏したり歌ったりして子どもたちに楽しんでもらう。	

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
お正月	日本に昔から伝わる、コマ回し・羽根つき・すごろく・かるたなどのお正月の遊びを通して、子どもたちに日本の正月や新しい年が始まる喜びを感じてもらい、また普段のロッキーと違う遊びで楽しんでもらう。	1月
～昔ながらの遊びを伝えよう～	内容	回数
	コマ・羽子板・すごろくなどお正月の遊び道具を出して、子どもたちに自由に遊んでもらう。またルールを知らない子どもたちにはスタッフが指導し、数人のグループでの遊びを促して一緒に楽しむ。大きないろはカルタを作って身体を使って取りながら遊んでもらう。1月に数日ほど開催する。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
節分	鬼の面を作ったり、豆まきの真似事をして日本の古くからの節分という習慣を身近に感じてもらう。	2月
～ロッキーで豆まき～	内容	回数
	身近な材料を使って、鬼の面などを作り、古紙で作った豆で豆まきをする。毎年恒例の行事だが、工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。節分に向けて1月下旬から2月にかけて2～3日開催する。	1回

桂山公園子どもログハウス自主事業別計画書

【平成23年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
ひなまつり ～かわいいおひなさま をつくろう～	施設に雛人形などを飾り付けし、簡単な雛人形の工作を作ってもらふことで、女の子のお祭りであるひなまつりを楽しんでもらう。	3月
	内容	回数
	身近な材料を使い子どもたちに簡単な雛人形を作ってもらい、施設に展示したり、自宅に持って帰ってもらいひなまつりを楽しんでもらう。毎年恒例の行事だが、工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。ひなまつりに向けて2月下旬から3月上旬にかけて2～3日開催する。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
おはなし会 ～みんな静かに聞こう～	子どもたちに絵本や紙芝居の読み聞かせを通して、面白さ、怖さ、驚きなどの感情を豊かにし、わくわくする時間を過ごしてもらふ。	毎月
	内容	回数
	近隣住民や学生などのボランティアに、絵本や紙芝居を子どもたちに読んでもらい、スタッフとは違う人たちとの交流を楽しんでもらう。昨年からは無料ボランティアにより、毎月1回開催している。	12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(記念行事)	目的	実施時期
20周年記念！ ～ロッキーギネス～	20周年を記念して、チャレンジできる特別なイベントを催す。	10月
	内容	回数
	館内にあるストラックアウト、輪投げを使ったり、反復横トビなど身近に出来る測定で、数値を競い、則定表を作成して参加者に贈呈する。1～2週間ほど期間を設けて実施し、年齢別上位者とその数値を館内に掲示する。	1回

平成23年度

収支予算書

横浜市桂山公園こどもログハウス

特定非営利活動法人
さかえ区民活動支援協会

平成23年度横浜市桂山公園こどもログハウス収支予算書

収入の部

科 目	指定管理料		
指定管理料	7,144,000		
利用料金収入			
自主事業収入			
雑入			
印刷代			
自動販売機手数料			
その他()			
その他()			
その他()			
収入合計	7,144,000		

支出の部

科 目	指定管理料		
人件費	5,165,000		
給与・賃金	5,104,000		
社会保険料	11,000		
通勤手当			
健康診断費	50,000		
勤労者福祉共済掛金			
事務費	545,000		
旅費	22,000		
消耗品費	204,000		
会議諸費	3,000		
印刷製本費	0		
通信費	100,000		
使用料及び賃借料			
備品購入費	30,000		
図書購入費			
施設賠償責任保険	49,000		
職員等研修費	2,000		
振込手数料	5,000		
リース料			
手数料	20,000		
地域協力費			
その他(諸費)	110,000		
事業費	60,000		
自主事業費	60,000		
管理費	787,000		
光熱水費			
電気料金			
ガス料金			
水道料金			
清掃費	179,000		
修繕費	200,000		
機械警備費	378,000		
設備保全費	30,000		
空調衛生設備保守			
消防設備保守			
電気設備保守			
害虫駆除清掃保守			
その他保全費	30,000		
共益費			
公租公課	230,000		
二一ズ対応費			
事務経費	357,000		
支出合計	7,144,000		

差 引	0		
-----	---	--	--